学校番号	T3005

平成31年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校　新現代社会　新訂版（清水書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学び直しの観点から小中学校で身につけておくべき事柄を復習しながら、現代社会のしくみや問題点をわかりやすく学習します。具体的には視聴覚教材の利用を効果的に取り入れるとともに、プリント教材にもルビをふり、表現も平易な表現とします。また、授業に興味が持てるよう導入を工夫します。その上で現代社会の問題点を自らの問題としてその解決方法について考えます。

2　学習の到達目標

現代社会のしくみについての基本的な知識を身につけ、その問題点について自分で判断し、考える力を養う。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	現代社会のしくみに対する関心を高め、意欲的に問題点を追求することで、人間としてのあり方、生き方についても自覚を深めようとする。	現代社会の問題点を積極的に自分の問題として考察し、その解決について考えさせる。公平、中立な立場で物事を判断できる。	視聴覚教材や新聞記事などの活用においてその情報を適切に選択し理解できている。	授業を通して現代社会のしくみと問題点を適切に理解し、自らの問題として考察することが身についている。
評価方法	授業プリント 定期考査 観察	授業プリント 定期考査 観察	授業プリント 定期考査 観察	授業プリント 定期考査 観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	世界と日本	○世界の国々 ○グローバル化と日本	○	○		○	a地図と地球儀を見比べ、世界地図を見るときの注意点を理解させる。 b世界には様々な国があることを理解させる。 d日本とのつながりを理解させ、グローバル化の時代になっていることを理解させる。	授業プリント 発言 定期考査
6 7	世界の諸問題	○人口問題 ○資源エネルギー問題 ○環境問題	○			○	a世界の人口の現状と予測を理解させ、人口問題の内容と解決の方法について考察させる。 a資源エネルギー問題の現状と問題点について理解させ考察させる。日本の役割も考えさせる。 d環境問題について理解させ解決方法を考察させる。自ら取り組めることも考えさせる。	授業プリント 発言 定期考査
9	日本国憲法	○憲法と法律 ○明治憲法 ○日本国憲法の制定	○				a憲法とは何かを理解させ、明治憲法から日本国憲法の成立過程を理解させる。戦争についても紹介する。	授業プリント 発言
10		○日本国憲法の基本原理 ○前文と国民主権		○			b日本国憲法の基本原理を前文から読み解き、国民主権とはどういうものでどうあるべきかを考察する。	授業プリント 発言 定期考査
11		○基本的人権		○			b自由権 b平等権と差別 b社会権 b新しい人権	授業プリント 発言
12		○平和主義		○			b前文と第9条 b自衛隊について考察する b日米安保について考察する b平和と安全の確保について考察する	授業プリント 発言 定期考査
1		○憲法を巡る問題 ○18歳選挙権	○			○	a憲法改正についての議論を紹介し考察する。 d18歳選挙権について説明し選挙の意義について考察する	授業プリント 発言
2	経済のしくみ	○景気について ○金融政策 ○財政政策	○	○			aアベノミクスを用いて経済のしくみを紹介する。 b金融政策や財政政策を説明し、景気回復について考察する	授業プリント 発言
3		○グローバル化する世界		○			bグローバル化する世界で日本の将来、世界貢献について考察する。 b国際連合	授業プリント 発言 定期考査

※表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：資料活用の技能　d：知識・理解

※年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている